

事業番号	08 03 01	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	需要対応穀物生産強化事業			担当	部局	農政部	
					課・室	農業技術課	
					E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト			実施期間	H18 ~		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産					

1 事業の概要

目指す姿	<p>○品質の高い米を生産するとともに、転作作物(麦・大豆・そば)の導入促進を図り効率的な経営体の育成を目指す。</p> <p>○米の県オリジナル品種の導入を促進するとともに、食味・品質に優れた特徴のある米の作付け拡大を目指す。</p> <p>○麦・大豆・そばでは、加工適性が高い品種の導入を促進し、加工業者等から求められる生産を目指す。</p> <p>成果目標:実需者ニーズの高い県オリジナル品種(米、麦、大豆、そば)の作付面積(H23:444ha→H29:1,750ha)</p>					
現状(予算編成時)	<p>○農業経営の安定と国内生産力の確保を図るため、国の施策を活用した的確な対応が必要となっている。</p> <p>○本県においては、適期作業や基本技術の励行等による品質向上・良食味対策に努めた結果、農産物検査法に基づく1等米比率(水稲うるち・玄米)は全国トップクラスを維持している。しかし、近年は高温登熟や雑草イネ発生による品質低下が発生しており、対策が必要となっている。</p> <p>○麦、大豆、そばの生産振興は、食料自給率の向上を図る上で非常に重要であり、実需者ニーズに対応した麦・大豆・そば産地を育成し作付拡大を図るとともに高品質麦・大豆・そばの安定生産を確立する必要がある。</p>					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 長野県の米穀類生産を、一層実需者ニーズに対応したものに誘導するため、県の関与が必要である。				
事業内容	① 成果目標(H26)					
	○実需者ニーズの高い県オリジナル品種(米、麦、大豆、そば)の作付面積 1,016ha (平成29年度の1,750haに向け、H26年度の目標面積を水稲新品種:320ha、麦・大豆・そば新品種:696haに設定)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初) (決算)	H27 (当初)
	需要対応穀物地域体制整備事業交付金	交付金	乾燥調製施設等の整備(JA、農事組合法人):2カ所	549,588	202,623	617,293
	産地モニタリング事業交付金	交付金	カドミウムに対する植物浄化技術の実証等(市町村)	100	100	0
	水稲及び水田作麦、大豆、そばの生産振興	直接	(1)水稲及び水田作麦、大豆、そばの生産振興 需要に的確に対応した米、水田作麦・大豆・そばの生産振興方針の樹立と生産体制の強化を図るための技術研修会・講習会の開催 (2)雑草イネ防除対策技術実証事業 防除技術確立現地実証圃設置による防除技術普及(発生地域拡大防止対策検討会の開催) (3)水稲新品種「風さやか」早期産地化事業 コンソーシアムの形成、生産拡大・品質確保対策の実施	7,266	6,430	2,977
	畑作戦略作物(麦・大豆・そば)の生産振興	直接	(1)経営所得安定対策を活用した畑作麦・大豆作付推進(研修会の開催 2回) (2)信州ひすいそば振興事業 「信州ひすいそば振興協議会」の開催等により県産そばの需要拡大を図った。	417	262	5,534
			合計	557,371	209,415	625,804

事業 コスト	区 分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越	554,640	7,335	0	115,132
	当初予算	406,780	7,240	557,371	625,804
	補正予算	1,220	41,367	-229,354	
	合計(A)	962,640	55,942	328,017	740,936
	Aの財源				
	一般財源	3,192	3,295	3,266	2,977
	県債	0	0	0	0
	国庫支出金	958,023	48,990	324,742	737,950
	その他	1,425	3,657	9	9
決算額(B)	503,652	52,151	209,415		
概算人件費					
職員数(人)	2.35	2.35	2.35	2.35	
概算人件費(C)	19,406	19,406	19,406	19,406	
概算事業費(B(A)+C)	523,058	71,557	228,821	760,342	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積	805ha	1,016ha	1,349ha	達成	1,680ha

目標に対する成果の状況	<p>実需者ニーズの高い県オリジナル品種の内、水稲については「水稲新品種「風さやか」早期産地化事業」によるPR対策等により588haの作付となった。そばについては「信州ひすいそば振興事業」による推進活動により、新規栽培者が増加したことから86haに拡大した。小麦についてはバン・中華麵用品種であるハナマンテン、ゆめかおりの作付が500haとなり、大豆では豆腐加工適性の優れるすずまれの作付が増加したことから、納豆用小粒品種のすずろまんと合わせ175haの作付となった。</p> <p>なお、H27年度の成果目標について、実需者ニーズの高い「風さやか」の普及を一層図ることとしたため、上方修正(1,645ha→1,680ha)した。</p>
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>第2期長野県食と農業農村振興計画の成果目標達成に向け、水稲では、「水稲「風さやか」ブランド確立推進事業」による栽培技術及びPR対策等により生産拡大を図る。また麦・大豆については実需者ニーズを踏まえつつ、生産振興研修会等において生産拡大を図る。「信州ひすいそば」については、協議会体制による推進を引き続き図るとともに、種子確保のため採種ほ面積を拡大し、栽培面積の拡大を図る。</p>